

こども往還機

子どもから出発して子どもに戻ってくる教育をめざすスペースシャトル

第10期

平成31年3月12日

第3ステージ

相模原市教育センター

<http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyoushijyuku/>

いよいよ授業づくり！ 教師塾の最終ステージ

第1ステージで描いた教師像、第2ステージで学んだ教師に必要な資質能力、これらを結集した授業づくりが第3ステージです。学校実習の体験も生かした、より実践的な学びとなりました。

1月19日
第8回

【講義】よりよい授業のために
よりよい授業のために

中野小学校 川邊 亮子 指導教諭
福川 裕史 専任講師

午前は、川邊先生に45分の授業をしていただきました。教材は大量のペットボトルキャップ。児童役の塾生は、自由な発想で仲間と遊んだり、作品をつくったりしました。学習活動の共有や振り返りをする中で、思考の広がりを見せ終了しました。



川邊指導教諭



次に塾生は授業者の立場に立ち、この2年生生活科の授業で「川邊先生はどんなことを考え授業を組み立てたのか。」「指導案から何をどのように読み取ればよいのか。」など、授業づくりの基本を学びました。

午後は、学習指導要領や教科書の位置づけについて確認した後、福川専任講師から、授業の組み立てや、教材、発問に関する理論的な講義がありました。教科書は主たる教材ですが、教科書をそのまま教えるのではなく、教科書を使って何を教えるか、子どもがどのように学ぶのかを十分に検討することが重要です。



福川専任講師

2月2日
第9回

【講義】よりよい授業のために

8期生 清水 祐介さん

9期生 荒木さやかさん

9期生 中田 靖菜さん

9期生 根岸 真由さん

4名の卒塾生をお招きし、英語、社会、外国語活動、算数の模擬授業をしていただきました。その後、授業のねらい、教材化の工夫、児童生徒の反応の生かし方、ハプニングへの対応など、授業にいたる

までの過程の解説があり、塾生からのたくさんの質問にもお答えいただきました。



まずは学習指導要領を読み解く



清水さん



荒木さん



中田さん



根岸さん

2月16日
第10回

【演習・協議】授業の実際

A4サイズ1枚にまとめた指導案と教材や掲示物を持って小学校に集まり、模擬授業を行いました。授業では教師は演者となる必要があります。表情や語り方は授業の雰囲気をつくり、作成した教材は子どもの知的好奇心を引き出せるかを左右します。授業が終わってみると、説明や指示、板書、子どもの発言を生かした授業展開など、具体的な改善点が見えてきたようです。また、仲間や専任講師の助言を受け、授業をより良くしていきたいという意欲が高まりました。

【塾生の振り返りより】

子どもたちの学習への意欲を高め、理解や考えが深まる授業を目指し、次回、また挑戦していきます。



3月2日
第11回

【演習・協議】授業の実際

【演習・協議】自己を語る



午前は、中学校の教室で模擬授業に再挑戦しました。2週間で教材や掲示物は改良され、黒板のめあてや資料は教室内のどの位置からも確認しやすいものになっていました。また、発問や指示が明瞭になり、自信をもったのぞんでいることが伝わってきます。それでも、児童生徒役の塾生からは次々と改善点が出されました。授業の奥深さを実感するとともに、授業づくりを追究する楽しさややりがいを感じたことでしょう。

午後は、教師に必要なとされる基礎的・基本的な力や、自分が身に付けてきたこと、今後の課題について、じっくりと協議しました。塾は次回が最終となります。これまでの学びをしみじみと語り合う姿も見られました。

第11回の振り返り（抜粋）

塾生の振り返り

教科によって授業のスタイルが異なるので、参考にしたいことがありました。

第3ステージでは、模擬授業や発表する場面が多く、緊張することばかりでしたが、習うよりなれた方がよいことを感じました。今後また皆さんの実践をしたいと思います。

これからはインクルーシブな考え方が主流になっていく。支援を行うことだけでなく、誰もが参加できる授業、活動を行っていくことが大切である。そして、多くの失敗をしながら、教師としても人間としても成長していきたい。

専任講師の助言

頭で考えたことだけでは、授業はうまくいきません。実際にやってみることで、イメージが広がり、様々な課題が見えてきます。だから授業は教師にとっても楽しいのです。

教師として、そして人間として成長しようとする姿勢は、自分の生き方になっていくと思います。時には失敗し、若さゆえの未熟さが出てしまっても、その姿勢を生徒たちは理解してくれます。